



【外 観】黄色液体

【液 性】弱アルカリ性 (pH9.6)

【主成分】界面活性剤、グリコール系溶剤、キレート剤

【入目・荷姿】18ℓ 金属缶

#### 【用 途】

- ・ 塗装面、プラスチック、ビニールレザー、鏡、ガラス、石材、陶磁器、クロス、金属等の素材に付着した手垢、水垢、湯垢、石鹸カス、タバコのヤニ、油脂、血液、機械油等の洗浄
- ・ 店舗内の陳列棚、カウンター、壁面パネル、コピー機、電子レンジ、ガラス、換気扇等に付着した手垢、油脂汚れの洗浄
- ・ 厨房内の油汚れの洗浄
- ・ トイレの便器、床タイルの洗浄
- ・ 浴室、浴槽等に付着した金属石鹸カス汚れの洗浄

#### 【特 長】

- ・ 汚れに対する湿潤性、浸透性、乳化性、分散性、可溶性等に優れ、汚れを手早く落とします。
- ・ 弱アルカリ性で、金属への影響が少ない。
- ・ 低臭で泡切れが良く、すすぎ性が良好です。
- ・ 動植物性油脂に対する洗浄性に優れています。

#### 【使用方法】

汚れの度合いに応じて、原液もしくは水・温水で希釈してご使用ください。  
 ポリールQCをスポンジやウエスにしみ込ませ、洗浄面を軽く擦ってください。  
 特にひどい汚れは、擦り込んで5分位置いてから洗えば効果的です。  
 洗浄後は水で洗い流すか、十分に拭き取りを行ってください。

汚れに対する洗浄剤濃度の目安

ひどい汚れの場合	原液～10倍	本液1 に対して、水0～9
一般的な汚れの場合	10倍～20倍	本液1 に対して、水9～19
軽い汚れの場合	20倍～50倍	本液1 に対して、水19～49

#### 【取扱上の注意】

- ・ 皮膚に触れたり眼に入らないよう注意してください。飲み込むと危険です。
- ・ 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用してください。
- ・ 換気をよくして使用してください。
- ・ 使用する前に目立たない所でお試してください。
- ・ 用途以外には使用しないでください。

FN 220331 1/3

〔製造元〕  **クソノキ化学株式会社**

本 社 大阪府富田林市若松町東 1-205  
 TEL 0721-26-2271 (代表)  
 FAX 0721-26-2273

〔販 売〕  **菱江化学株式会社**

本 社 東京都中央区日本橋本町 4-12-20 PMO 日本橋本町ビル  
 TEL 03-6861-0054  
 FAX 03-6861-0034

【金属に対する影響】

〔試験条件〕

洗浄剤濃度 ..... 「ポリールQC」原液及び10倍希釈液  
洗浄剤温度 ..... 常温  
浸漬時間 ..... 1時間

金属板の外観変化での判定

品 種	原 液	10倍希釈液
鉄		
銅		
アルミニウム		
真鍮		
ステンレス (SUS304)		

判定基準：目視による外観の変化  
：変化なし  
：発錆または変色が認められる

【樹脂・ゴムに対する影響】

洗浄剤濃度 ..... 「ポリールQC」原液及び10倍希釈液  
洗浄剤温度 ..... 常温  
浸漬時間 ..... 1時間

樹脂・ゴムの外観変化での判定

	原 液	10倍希釈液
硬質ポリ塩化ビニル		
半硬質ポリ塩化ビニル		
ポリメチルメタクリレート		
ポリスチレン系 (ABS・PS)		
ポリプロピレン		
ポリエステル (PET)		
クロロブレンゴム		
ウレタンゴム		
ブチルゴム		
シリコンゴム		

判定基準：目視による外観の変化  
：変化なし

## 取扱説明書

製品名	ポリールQC
危険性	<ul style="list-style-type: none"><li>・不燃性であり、引火性、爆発性、酸化性、自然発火性なし。</li><li>・通常の条件では熱、光、衝撃に対し化学的に安定である。</li></ul>
有害性	<ul style="list-style-type: none"><li>・眼に対して刺激性がある。皮膚に繰り返し接触すると、脱脂作用により皮膚荒れを起こす事がある。</li></ul>
取扱上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・換気の良い場所で取扱う。蒸気又はミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。</li><li>・取扱い中はゴム手袋、ゴム前掛け、眼鏡、長靴等の保護具を着用し、直接身体又は着衣に付着しないようにする。</li><li>・飛散させたり、こぼれないようにする。万一飛散したり、こぼれた場合には、水で洗い流す。</li><li>・取扱い後に手、顔等をよく洗い、うがいをする。</li></ul>
火災時の処置	<ul style="list-style-type: none"><li>・可能な限り風上から消火活動を行う。 呼吸保護具等適切な保護具を状況に応じ着用する。 消火剤：炭酸ガス、粉末、泡、水噴霧</li></ul>
漏出時の処置	<ul style="list-style-type: none"><li>・大量の場合、おが屑、土砂等を混ぜ、スコップ等で空容器に回収する。 少量の場合は、ウエス等で拭き取る。 河川等に排出されないように注意する。</li><li>・ゴミ、水分等の混入防止のため、使用後は密栓して下さい。</li></ul>
保管上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・直射日光が当たらない冷暗所に保管する。</li><li>・盗難又は紛失することのないよう施設場所に保管する。</li></ul>
応急処置	<p>&lt; 眼に入った場合 &gt;</p> <p>直ちに多量の水で 15 分以上洗眼し、直ちに眼科医の手当を受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々までよく行きわたるように洗淨する。コンタクトレンズを着用の場合は、取り除いて洗眼し続け、医師の手当を受ける。</p> <p>&lt; 皮膚に付着した場合 &gt;</p> <p>汚染した衣服、靴等を速やかに脱ぐ。外観に変化が有るか、痛みが続く場合は、医師の手当を受ける。</p> <p>&lt; 吸入した場合 &gt;</p> <p>蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、身体を毛布等で覆い保温して安静に保ち、医師の手当を受ける。</p> <p>&lt; 飲み込んだ場合 &gt;</p> <p>水でよく口の中を洗淨する。可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当を受ける。</p>
廃棄上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・使用廃液、水洗水の廃棄の際は、条例や法令に従って処理して下さい。</li><li>・自社内処理を行う場合には、pH 調整、凝集沈殿処理、活性汚泥処理、活性炭吸着等の処理を行い、市町村の条例に定める基準に従って放流して下さい。</li></ul>